

東京海上日動火災保険(株) 岐阜支店

岐阜市・保険業(損害保険)

従業員数 / 男性31名 女性55名 計86名 ※令和5年11月現在

エクセレント
POINT

- ①女性社員が意思決定の場に参画し、企画・実行するプロジェクトを発足
- ②いつでも・どこでも・誰もが働きやすい「新しい働き方」を推進
- ③風通しの良い職場づくりのためのミーティングや交流会を実施



仕事上の課題や悩みを話し合う交流会「マジきら」。役職・年齢・性別に拘われない、明るく自由な雰囲気が特徴。

東京海上日動火災保険では、会社や組織のあらゆる意思決定の場に女性が当たり前に参画している状態を目指している。岐阜支店では、2022年度に働きがいとやりがいのあふれる支店を自らの手で作るため、「エリアコース社員が輝く岐阜支店」の頭文字を取って「AKG」と称するプロジェクトを立ち上げた。「働き方改革」「支店内コミュニケーションの活性化」「人材育成」という支店の

女性がキャリアの可能性を広げる機会を

重要テーマに沿った企画を支店長に提案し改善を行うというもので、エリアコース(地域限定)社員の多くの女性が自らエントリリーしている。チームに分かれ練り上げた企画がプレゼン大会で支店長に提案され、これまで9つが採用された。現在は、メンバー主体で関係者と連携しながら企画を実行している。

AKGでは「私たちの力で変えていく」「私たちの輪を広げていく」「Team岐阜カラーオリジナリティに拘つていく」を大切な思いとして掲げ、活動の結果として個人と組織双方に貢献・還元したいと考えている。参加者からは、「自分たちの企画が採用され実行していくことに達成感を感じた」、「離れた支社のメンバーとも、ZOOMやチャットを駆使してプロジェクトを運営し距離感が縮まった」といった感想が相次ぎ、好評だ。ほかに、個人と会社の成長実現を目指して「ミライプロジェクト」に取り組んでいる。取組みの柱の1つに「新しい働き方」を掲げ、テレワークや勤務時間自由選択制度、デジタルツールを積極的に活用し、いつで



支店会議にて、AKG各チームより企画内容を説明。

もどこでも誰もが働きやすい環境を目指している。

また、「新しい私たち」(多様性を認め合い、専門性を高める、いきいき挑戦する会社へ)を実現するために、上司との1対1での対話等で一人ひとりのありたい姿や挑戦を明確にし、取組みを進めている。風通しの良い職場づくりとして、まじめな話(仕事上の課題や悩みの話し合い)を気楽にするオフサイトミーティング(通称「マジきら」)の開催や、役職名の表示廃止や「さんづけ」文化により、タテ・ヨコ・ナナメの自由闊達なコミュニケーション促進を推進している。